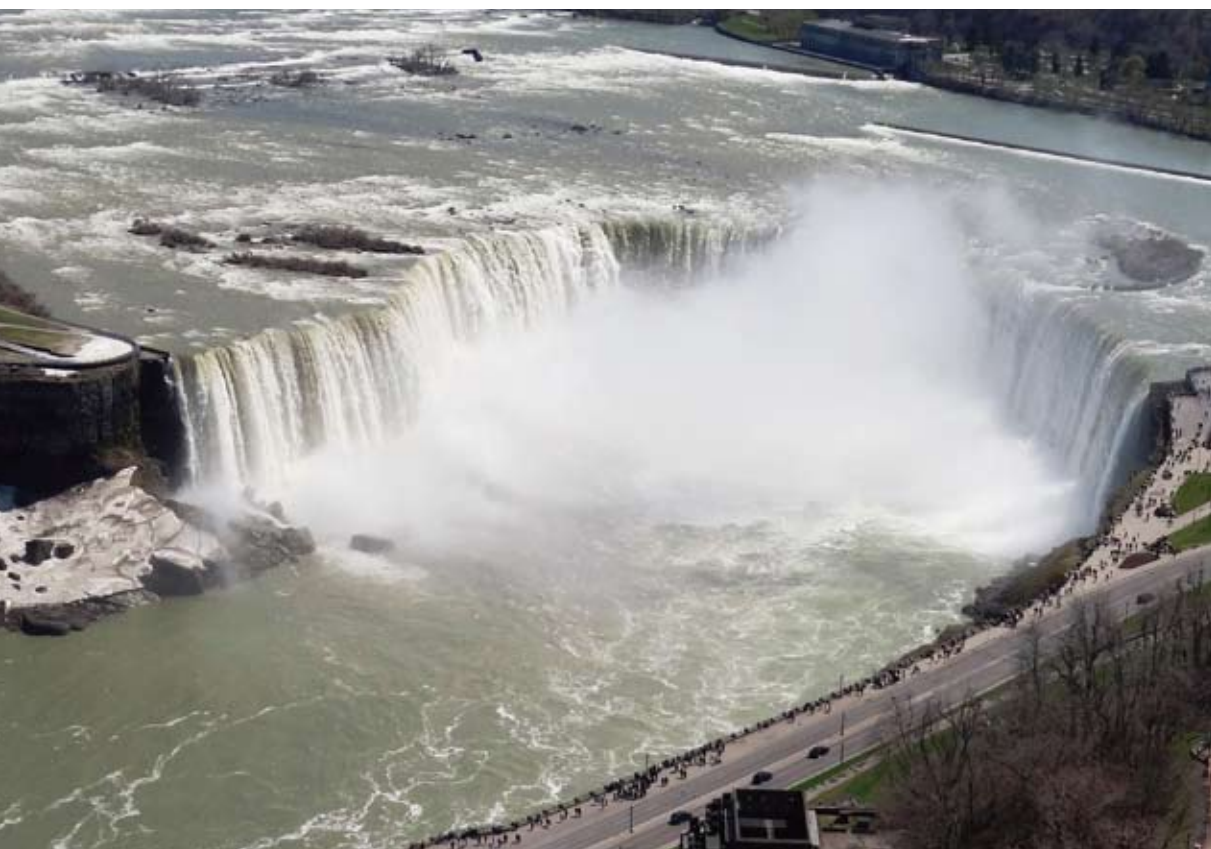




ONE WORLD Info

英語教育 通信

特集：ONE WORLD教科書での授業実践

教科書を用いた指導と評価 … 泉 恵美子

生徒がいきいきと活動できる授業づくりを目指して … 黒萩 徳樹

本課外のコーナーを展開する工夫 … 大須田 章人

ICTを活用した英語授業の実践 … 瀧川 尚樹

小学校外国語活動

小学校英語、現場で奮闘中！ … 荒井 和枝

連載

とっておきの英語6 Then fight it. Fight it! … 野田 小枝子

今ドキ英語事情 Munchies and piggies and foodies … Peter J. Collins

教科書を用いた指導と評価

京都教育大学 泉 恵美子

1. はじめに

平成24年度より新学習指導要領が導入され、新教科書が用いられるようになった。どの出版社も趣向を凝らし、小学校外国語活動との接続、連携を考えて中学校1年の教科書は大きく模様替えをしている。小学校外国語活動では、基本的なあいさつや、自己紹介、好きなもの、できること、行きたい国、将来の夢といった話題や、道案内、注文、買い物など場面を明確にした定型表現、基本語彙など、児童の身近な生活や身の回りのものを中心に体験的に音声や表現に慣れ親しんできている。中学校では音声でたっぷり触れた内容を文字に表し、音声・形式・意味を意識させ、文構造を考えて自ら単語や文法を選択し、文を組み立て使えるようにしたい。また、時間数が週1時間、語彙数が300語増え、教科書も各学年で約30ページ増加している。そこで、4技能の統合に留意し、読む・書く指導、辞書指導なども丁寧に行い、インプットからインテイク、そしてアウトプットへ、すなわち英語を用いて発信できる力を育成したい。

2. 教科書を用いた指導の具体例

本稿では、ONE WORLD English Course 3のLesson 2 “Kenta’s Homestay in London”とそれに続くWord Watch 1, Writing Tipsを例にとって、教科書を用いた授業実践事例と評価について考えてみたい。

(1) 指導目標と評価規準

本課では、現在完了形の継続と経験を扱い、テーマはロンドンにホームステイしているケンタがホストファミリーとの生活を通してイギリスの生活や文化について知り、それらを紹介する内容になっている。したがって、単元の指導目標と評価規準は次のものとなる。指導と評価は一体であり、単元の指

導計画を作成する際に、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」(観点①)、「外国語表現の能力」(観点②)、「外国語理解の能力」(観点③)、「言語や文化についての知識・理解」(観点④)について、4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)を通して指導できるように、評価規準と評価の方法を計画しておくことが大切だ。

【評価規準】

- ①イギリスの文化に興味をもち、英文を読んだり、日本文化についての紹介文を読み手に分かりやすく伝えようとしている。
- ②経験したことや継続していることについて説明したり、文の構成を考えた文章を書くことができる。
- ③経験したことや継続していることを伝える文を聞いたり読んだりして、内容を正しく理解することができる。
- ④現在完了形の構造や用法について知識を身につけている。また、イギリスについての文化的背景を理解したり、Eメールの形式について理解している。

【評価の方法】

- ・授業中の活動や発表の観察(観点①②③④)
- ・過去の経験についてインタビューテスト(観点①②④)
- ・音読テスト(観点①②③)
- ・ペーパーテスト：リーディング、リスニング、単語テスト(観点②③④)
- ・日本文化紹介(観点①②) *パフォーマンス評価
- ・Eメール作成(観点①②④) *作品評価

(2) 単元計画

全12時間で、第1時～第8時は4つのパートでそれぞれ2時間配当(1時間目は文法事項の導入と練習、本文の導入と内容把握、音読。2時間目は教科書の本文を用いた習熟とアウトプット活動)。第9時～第10時はTask、

練習と異文化理解、第11時はWord Watch、第12時はWriting Tipsとまとめとなろう。

(3) 1時間の展開 (第7時)Part 4

- ①あいさつ・Warming up：月日や曜日、天気や最近の話題など簡単なやりとりの後、トピックを与えて、ペアで1分間チャットをさせたり、あらかじめ準備させておいたスピーチを毎回生徒1～2名に発表させ、他の生徒にまとめや質問・感想を言わせる。あるいは英語の歌やチャンツで始めてもよいだろう。
- ②復習：Part 3までの内容に関して英問英答を行った後、ピクチャーカードを用いて、英文で要約をさせる。1・2年時の教科書を使用して、リテリングをさせてもよい。
- ③新教材の導入：現在完了形の経験の用法を用いて教師が簡単なスピーチを行い、その後に英問英答を行う。I have been to the UK before and I have ever eaten fish and chips. It was delicious. Have you ever seen *Harry Potter* movies?...
- ④練習：現在完了形を用いた練習を行う。
- ⑤発展：ワークシートを配付し、これまでの経験についてインタビュー活動を行い、したことがある人のサインを集める。その際、Yes, I have.なら、具体的にいつのことか追加質問をする。

(例) When did you go to Okinawa?

Have you ever been to Okinawa? ()	Have you ever met a famous person? ()	Have you ever tried Italian food? ()
Have you ever seen a UFO? ()	Have you ever read a Natsume Soseki's book? ()	Have you ever visited a peace memorial park? ()
Have you ever eaten caviar? ()	Have you ever taken a trip by bike? ()	Have you ever climbed Mt. Fuji? ()

- ⑥本文の導入：Oral Introductionで本文について導入する。その後にTrue or False

questions や英問英答を行う。

- ⑦内容把握：全体をCDなどで聞かせた後、新出単語を確認し、英語で質問やパラフレーズをしながら、全体の意味を理解させる。その際、事実を尋ねる質問のみならず、推論発問や個人に関連する質問を投げかける。
- ⑧音読：CDや教師に続いて読んだり、OverlappingやRead & Look upなど何度か音読をする。ペアで、気持ちを込めて読むように伝える。
- ⑨感想：『ハリー・ポッター』の映画やイギリスの伝統的な食べ物について、感想などを言わせる。
- ⑩まとめ、次時の予告、あいさつ

3. 評価の具体例

インタビューテスト：授業中に行った現在完了形の継続と経験を合わせたインタビューを行う。

(例) How long have you lived in this town?
Have you ever been to Tokyo Disneyland?

評価基準 (A)

- ①音声に集中し、話し手を見て理解しようとしたり、学んだ表現を積極的に用い、多くの情報を相手に伝えようとする態度が見られる。
 - ②適切な表現や文を使って、正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて相手に正しく伝えることが十分にできる。
 - ③内容について正しく聞き取ることができる。
- 留意点：**現在完了形は過去形と異なり、話者の視点が現在にあり、過去の経験や状態が継続しており、何らかの感情（喜び、達成感、自慢や後悔など）が込められていることが多い。そこで、生徒のこれまでの自分史や経験を引き出せるようにして、習得させたい。

日本文化を調べて紹介文を書かせる活動なども生徒のアイディアを引き出すことができ、ポートフォリオ評価にも活用できる。教師が教科書をアレンジしたり、創造的に活用し、生徒の英語学習への興味を引き出したい。

生徒がいきいきと活動できる授業づくりを目指して

北海道弟子屈^{てしかが}町立弟子屈中学校 黒萩^{なるき} 徳樹

1. はじめに

弟子屈中学校は、校舎から阿寒国立公園の高峻なる山並みが遠望され、周辺は豊かな森と摩周湖、屈斜路湖、火山の絶妙な景観等、雄大な自然環境に恵まれている。現在、各学年2クラスずつと2クラスの特別支援学級の8学級編成で175名の生徒が、在籍している。生徒は、温厚で実直な生徒が多く、物事に真剣に取り組み、礼儀正しく、落ち着きのある学校生活を送っている。

2. 見通しと振り返り学習活動の重視

本校では、「学ぶ楽しさを実感できる生徒の育成～基礎的・基本的な知識・技能の習得と学習習慣の確立を通して～」という研究主題のもと「見通し・振り返りの場面を設定した授業作り」と「言語活動を意識した生徒の活動を設定した授業作り」に取り組んでいる。

本校の校内研修を意識しながら、英語の授業作りの中での工夫について述べてみたい。

3. 英語科における「見通し・振り返り」

どの教科においても言えることであるが、生徒が単元や授業で最終的に何ができるようになるのか、どのような取り組みをするのかという「見通し」をもち、課題に取り組むことが大切である。また、目標達成に向けて学習活動を進める段階で、自分の学習活動を「振り返り」、考えや内容をまとめることで、理解がより深められ、学習意欲の向上につながる。

そこで、レッスンごとに「英語補助ノート」を作成し、生徒に事前に配付している。

表紙には、その単元での目標を明示してお

く。例えば、第3学年のReading 1 “Audrey Hepburn” では、次のような目標を明示しておく。

- (1) 要点の把握を意識して、まとまった文章を読むことができる。
- (2) 接続詞の意味に注意して、前後の文の関係を理解することができる。
- (3) 物語の時代背景について理解することができる。
- (4) Audrey Hepburnの生涯について理解することができる。

このような目標を明示しておくことで、生徒はこの単元で何を学ぶのかという「見通し」をもって学習活動に取り組むことができる。

また、パートごとにStep 1～Step 4 程度でのTaskを作っておく。その際、Step 1では、教科書本文の内容の概略をとらえるような活動、Step 2では、本文の音読やRead & Look up, Shadowing, 暗唱といった活動、Step 3では教科書本文に関する英問英答や教科書のモノログをダイアログに直したペアワーク、Step 4では自分の考えを表現する活動と徐々にTaskのレベルが上がるように設定しておく。そして、「理解」「思考」「習熟」という学習段階を考え、全員の生徒がStep 3まではできるようにする。Step 4以上のTaskを設定した場合は、それらは「発展」段階ととらえる。このTask作りには、『教科書本文活用ノート』（教育出版）を参考にさせていただき、本校の生徒の実態にあった活動になるようにアレンジしたり、新しい活動を考えたりと、教材研究を楽しむことも大切であると考えている。

これらのTaskに取り組んだ後には、必ず

学習を「振り返る」自己評価の欄を設けておく。各パートで、評価の4観点に合わせた評価項目に対し、ABCの3段階で自己評価させ、自分の学習活動を「振り返り」、成果と課題を把握させる。そのことで、また次の学習への「見通し」をもたせる。

4. 言語活動を意識した 生徒の活動の場面

各パートのTaskについては、「言語活動」を意識しながら作ることにしている。ここで、4技能ごとに具体例を挙げることにする。

4-1. 「聞くこと」

いわゆるOral Introductionの利用が最も手軽な活動といえる。教科書本文を利用したOral Introductionの際には、教科書を開本させてしまうと挿絵から内容が推測できるものが多いので、状況に応じて開本させずに行ったり、教科書のイラストをスライドとして提示して、イラストの状況を説明するなど、生徒が教師の英語に集中できるように工夫する必要がある。また、聞き取りが得意でない生徒には、「これから先生の話す英語からスライドで示す5つのポイントを聞き取ってみよう」などと具体的に何を聞き取るべきなのかを明示しておくといよい。ときには、教科書から離れ、生徒が興味をもちそうな時事ネタやスポーツ・芸能ニュースなどに基本本文を入れてWarming up的なリスニング活動を行うと生徒は楽しんで取り組む。ネット配信でスク립トだけでなく音声データも手に入る教材も販売されており、重宝している。

4-2. 「話すこと」

話す活動として対話練習がよく使われるが、単なるパターンプラクティスに陥りやすい。英語が得意でない生徒にとっては段階的に練習した方がよいので、最初は十分なパターンプラクティスも必要と考える。ここでは、PowerPointのスライドを使って、視覚

的にも練習を十分に積んでおき、まずはモデルダイアログを確実に練習できるようにしておく。その後、「男子3人女子3人と練習しよう」などできるだけ多くの生徒と練習させる。5つ程度の絵やモデルを練習させたら、必ず「自分の立場」で作る問題を入れておくと、単なるパターンプラクティスで終わらない。また、可能であれば、「自分の立場」を含めたいいくつかの例を書かせると、「書くこと」と関連づけることもできる。

4-3. 「読むこと」

特に音読の指導において、PowerPointを利用し、本文を意味単位で改行したスライドを映す。最初は、教師に続いてリピートし、生徒が難しいと感じる意味単位は集中的に繰り返す。その後、PowerPointのアニメーション機能の「終了」効果で「ワイプ」を使い、生徒の音読と同時に字幕が消えるように設定したスライドに合わせて音読練習をする。生徒のスピードに合わせたアニメーションにしておくと、ただ目で追うだけでなく、自分の音読スピードより速く消えてしまう部分については、推測しながら音読練習をすることになる。

4-4. 「書くこと」

基本本文の練習や本文の音読練習、内容理解をもとに、「自分の考え」や「友達について」などパターンプラクティスを応用したり発展させたりする英作文を用意する。その際には、使える表現などを事前に練習したり提示したりしておくと、生徒も取り組みやすい。

小生のふだんの授業での些細な工夫でしかありませんので、読者の皆様からご質問やご示唆をいただけましたら幸いです。

本課外のコーナーを展開する工夫

北海道北広島市立大曲中学校 大須田 章人

新学習指導要領の実施に伴い、新しくなった教科書を用いて毎日の授業に取り組んでいます。本校はごくごく普通の公立中学校です。決して英語が得意な生徒が集まっているわけではありません。英語が好き・話せるようになりたいと積極的に学ぶ生徒ももちろん多くいますが、中にはアルファベットを書くことすらままならない生徒もいます。そんな生徒たちに「わかった！できた！」という思いをもたせる英語授業を、と日常実践に臨んでいます。

“ONE WORLDでの授業実践”ということですが、レッスンの各パートは、基本的に、新出単語の確認、文法解説と練習（ときにゲームや言語活動を含む）、本文内容の読み取り、音読…といった順序で、1パート2時間で進めています。パートパートで進め方を変えず、あえてパターン化した授業構成にしています。どのように授業をするか考えさせられるのが、各レッスンの間にあるWord Watch, Writing Tips, Reading Tipsなどです。Projectはちょうど学期の最初や終わりに行うのによい活動で、教科書に示されている手順で丁寧に行えば、確実にひとつの活動として生徒たちの力量アップができます。先述の部分は、軽く済まそうと思えば済ませますが、逆に1時間いっぱいをかけて楽しく深い活動にすることもできるのではないのでしょうか。今回はそのいくつかを紹介します。

1年生での授業実践例

1年生の教科書はWord Watchなどでもパズルや友人どうしでの尋ね合いなどが組み込まれており、活動しやすくなっています。

p. 34 Word Watch 2 [曜日] を参考に…

曜日を表す単語が初登場するページです。読み方は多くの生徒が知っています。さらに文字も合わせて覚えてもらいたいと思いますが、その際に教科書のワードサーチのパズルが役に立ちました。生徒たちはとても必死になって取り組んでいました。

Word Watch 2 [曜日]

Days of the Week
※今年のあなたの誕生日は何曜日に書いてみよう。

Sunday 日曜日	Monday 月曜日	Tuesday 火曜日	Wednesday 水曜日	Thursday 木曜日	Friday 金曜日	Saturday 土曜日
---------------	---------------	----------------	------------------	-----------------	---------------	-----------------

It's on Sunday.

※右の図柄をなめになんだアルファベットから曜日の単語を見つけ、書き出そう。

B	G	I	O	I	T	Y	W	Y
F	D	I	A	A	A	Y	E	A
D	R	W	D	D	Y	A	D	D
S	Z	I	S	A	U	D	N	R
P	U	E	D	E	U	S	E	U
F	U	N	C	A	Y	R	S	T
T	O	F	D	A	Y	U	D	A
M	O	L	N	A	X	H	A	S
Q	Z	Y	C	T	Y	T	Y	X

※友だちの今年の誕生日は何曜日に、当ててみよう。
※4人のグループをつくり、自分以外の3人の、今年の誕生日の曜日を当ててみよう。書く前に曜日の単語を手帳に、裏に記入しよう。1人ずつ順番に、いちばん早く友だちみんなの曜日を当てた人が勝ちです。

友だちの名前	(例) マミ			
第1候補	Tuesday			
第2候補	Sunday			
第3候補	Thursday			

Is it on Tuesday? —Yes, it is. / No, it isn't.

day(s) of the week on

そこで、他のWord Watchでもワードサーチを作成し、使っています。

Family Tree

J	O	Y	S	Z	R	R	S	B	Y
B	F	A	T	H	E	R	I	A	Z
K	L	O	F	H	T	I	S	B	B
M	A	S	T	F	K	H	R	T	X
V	O	O	W	E	G	R	E	B	I
N	R	T	R	Y	U	A	R	I	F
B	T	L	H	T	A	C	U	N	B
V	Z	W	N	E	D	H	K	N	Y
V	N	N	N	W	R	N	I	S	R
G	X	T	I	A	U	F	B	R	J

p. 47 Lesson 3 Task ③

人物当てクイズです。今回はグループ活動で行いました。

- ①各自、自分の教科書に自己紹介文を書く。
この際、巻末付録を参考にとすると、下位の生徒でも十分英作文ができる。
- ②グループ内で教科書を集めてシャッフルし、各人に1冊ずつ教科書を渡す。
- ③順番に渡された教科書の自己紹介文を読み、それが班内の誰の紹介文なのか、当てる。

感想 比較的難易度の低い活動で、かつ教師側で用意するものも特にないため、行いやすい活動でした。グループ内で行った後、学級全体で行うこともできます。全員の教科書を集め、教師の方で何冊か選んで自己紹介文を読んで聞かせ、誰のものなのか当てさせるというのも、答えの選択肢が多くなるので盛り上がる活動でした。

p. 79 Jiro in America 1

Jiro in Americaでは、主にスキットを行います。生徒の興味・関心、英語の力によって、レベルを上げていくことが可能です。

Level 1…グループで役柄を決めて教科書を読み合う。

Level 2…食べ物名の部分を空欄にしたプリントを使い、好きな食べ物を書き加えてオリジナルの台本を作り、読み合う。

Level 3…実際に動きをつけて演じてみる。

感想 Level 3は全員では行いませんでしたが、代表して発表してくれるグループに演技してもらいました。

3年生での授業実践例

3年生ともなると、ますます生徒間の学力差も開いてきます。一斉授業において英語が得意な生徒も満足できる、かつ不得意な生徒にも達成感を味わわせることを目指して、以下の実践を行いました。

p. 29 Writing Tips

～日本の文化を紹介する文を書こう～

- ①教科書にある「風呂敷」「将棋」「餅」の英文を見本として提示し、音読、意味を確認。
- ②お題の「日本文化」は、教師が用意したカードを引いて個人が選ぶかたちにした。用いた「日本文化」…豆腐、納豆、寿司、急須、座布団、相撲、浴衣、ひな祭り、成人の日、など
- ③英文を作成した後、作った英文を友人に読んで聞かせ、何について書いたものかを当ててもらおうというゲーム形式にしたところ、積極的に取り組む生徒が多かった。
- ④友達にコメントを書いてもらう。できれば英語で記入。(難しければ日本語もOK)

p.29 Writing Tips ～日本の文化を紹介する文を書こう～

Class Number Name

1. Your card is... (日本語で)

2. Let's write your own sentences!

※参考

It is used when you ~.「それは～するときに使われる」

It is used to ~.「それは～するために使われる」

This is a Japanese traditional ~.「これは日本の伝統的な～だ」

It is a kind of ~.「それは～の一種です。」

It is like ~.「それは～に似ています。」

This is _____

More than 3 sentences

3. Tell it to your classmates!

Name	○×	Comments from your friends

感想 教科書の文を参考にすれば、不得意な生徒でも英文を作ることが可能でした。班単位で行ったため、生徒どうしの教え合いもできました。英語が不得意な生徒であっても、自分の考えを英語で書きたい・伝えたいという思いを強くもっています。せっかくのその意欲を削ぐことなく、授業で発揮できるような活動を取り入れていくことが大切です。

ICTを活用した英語授業の実践

熊本県八代市立第一中学校 瀧川 尚樹

1. はじめに

現在、学校では、コンピュータや電子黒板、デジタル教科書等のICTの導入・整備が進みつつあり、教育の情報化の推進が期待されている。

熊本県では、児童・生徒の学力向上や学習意欲の向上につながるICTを広く普及させるために、授業でのICT活用の好事例を収集し、インターネット上で公開している。

その「教育の情報化に関する好事例プロジェクト」のメンバーの一人として、昨年度ICTを活用して行った授業や、ICTの活用を始めてから、これまで行ってきた授業実践を中心にレポートさせていただきたい。

2. ICTが授業・生徒を変える

私自身のICTとの出会いは、ある英語教育の研修会に参加した時のことである。パソコンのプレゼンテーションソフトやiPodなどを巧みに使いながら、私を含め会場内の全ての参加者を引きつけている講師の先生がいらっしまった。「あの先生のようにになりたい。」その憧れの気持ちから、早速 iPodを購入し、授業で使用しはじめたことがICT活用の最初の一步だった。

ICTを実際に授業で活用していく中で、生徒の良い変容が見られた。ICT活用の利点として、私が考えることは以下の3点である。

- ①生徒の興味を引くことができる。
(顔・目線が上がる。)
- ②生徒の理解を促すことができる。
(視覚的に分かりやすい。)
- ③生徒の活動量を増やすことができる。
(教師の板書・説明が短くて済む。)

3. 授業でのICT活用の実践

ここで紹介する実践で使用した機器は、以下のとおりである。

- ①パソコン(プレゼンテーションソフト)
- ②プロジェクター
- ③スクリーン(模造紙でも可)
- ④パソコン用スピーカー

(1) 語彙指導

フラッシュカードの代わりとして使用する。長所は、紙のフラッシュカードよりも文字を大きくすることができ、生徒にとって見やすいこと。また発音で注意が必要な部分(文字)の色を変え、注目させることができること。また、教師はカードを持ち運ばなくてもよい。



日本語だけを表示、または英語だけを表示して、英訳・和訳の練習もできる。

(2) 文法事項(目標文)の導入



デジカメやビデオカメラで撮影したALTとの会話の動画をプレゼンテーションソフトに貼りつけることができる。

前もって撮影しておくことで、ALTが不在のときでも、ALTとの会話を聞いて内容

を把握させることによって、目標文を導入することができる。

また、ALTのセリフのみを収録しておき、ALTの映像を相手に、授業時にその場で会話をするという方法もある。

(3) 説明

ポイントを事前にまとめておくことで、板書の時間を削ることができる。スライドはプリントとして配付することもできる。

一般動詞のsのつけ方		
パターン	sのつけ方	例
基本 (ほとんども)	-s	plays, likes
語尾がs / o / x / sh / ch	-es	goes, washes watches
語尾が 子音字 + y	y → ies	study → studies
不規則変化 have	要注意!	have → has

(4) パターンプラクティス

日本語のキーワードやイラスト・写真を次々と変えることによって、テンポよく、多くの練習を行うことができる。

★日本語を入れ替えての練習

★不特定のものの存在を表すとき

「～がある・いる」

There is/are ～.

机の下に 3本のペン がある。

There are three pens

under the desk.

★イラスト・写真を入れ替えての練習



It looks [redacted].

(5) 音読練習

教科書の本文を音読させるときに、スクリーンに教科書本文を映し出して読ませると、生徒は顔・目線を上げて声を出すことができ、教師側も生徒の様子を確認しやすい。

また、本文の一部を隠すなどの工夫をすることによって、思考させながら音読させることができる。

This is a picture of 1 family.
This is 2 father.
3 is a good cook.
This is 4 mother.
5 is from New Zealand.
6 is good at tennis.



4. 今後の取り組み

(デジタル教科書の効果的活用)

昨年度、学校の備品としてデジタル教科書を全学年分購入した。フラッシュカードやピクチャーカード、もちろん教科書本文や音声も全て含まれている。プレゼンテーションソフトを使ってスライドを作るのが得意でない、もしくは忙しくてできないという人にとっては、たいへん便利なものである。

私自身もそのデジタル教科書を授業のどの場面で効果的に活用することができるか、今後研究と実践を重ねていきたい。

拙著のICT活用の授業実践や指導案については、以下のウェブサイトでご覧いただくことができます。

熊本県教育委員会

ICT活用に関する好事例の公開サイト

<http://www.higo.ed.jp/gp/kyouka/jhs/jhs-kyouka.html#eigo>

小学校英語，現場で奮闘中！

筑波大学附属小学校 荒井 和枝

筑波大学附属小学校では、3年から6年まで週1時間英語活動を行っています。どの教師も願っていることだと思いますが、英語を好きになってもらうことが小学校での大きな目標といってよいでしょう。主に聞く、話す活動を通して英語に慣れ親しみ、中学校から始まる英語学習への橋渡しができればと思っています。

1. 子どもたち、やっぱり歌が好き！

どの学年でも英語の歌を歌っています。授業のウォームアップとして有効なだけでなく、英語の音やリズムに慣れ親しむことができます。日本語でも耳馴染みのある歌などからマザーグースの歌、高学年後半は長めの歌にも挑戦しています。最初はヒントなしで聞こえた音について尋ねます。次はヒントを提示して「食べ物之歌の中にいるよ。」「動物が出てきているよ。」など子どもたちの耳が集中しやすいように投げかけます。もちろん一度では聞き取れないので、繰り返し聞くことになります。“One more time, please!”を引き出しながら繰り返し聞いて真似をするという機会をなるべく増やします。慣れてきたらクイズにするなど、子どもたちが飽きない工夫も必要です。“Who stole the cookie from the cookie jar?”などは歌えるようになってから、カードゲームをすると盛り上がります。

今年度からは毎週金曜日の給食の時間に英語の歌を放送し、英語に親しんでもらう取り組みをしています。2曲を流しますが、1曲は“Grandfather’s clock”「大きなのっぽの古時計」や“One sunny day”「森のくまさん」など低・中学年でも英語で口ずさんで歌いたくなるものにしています。もう1曲は子どもたちからのリクエスト。毎週、「あの曲をお願い！」とリクエストが集まります。特に高学

年の中には洋楽を聞き始めている子どももいるので、自分の興味のある音楽をリクエストしてくれます。*One Direction*あり、映画「レ・ミゼラブル」の挿入歌ありと様々です。

2. 学年に合わせた活動を！

3・4年生は英語を聞くことに慣れながら、歌、絵本、ゲームなどを通して身近な単語や表現を増やしていきます。

例えば“Five little monkeys”を扱うときには、動物の名前、数、部屋にある身近なものを導入できます。大型本があるので、部屋の様子を見せるだけでも、bed, pillow, pajamas, phone といった言葉も扱えます。「英語と日本語のパジャマの発音が違う！」それだけでも子どもにとっては発見です。

Five little monkeys jumping on the bed.
One fell off and bumped his head. Mama
called the doctor and the doctor said, “No
more monkeys jumping on the bed!”
Four little monkeys jumping on the...

繰り返すうちに、子どもたちはリズムのって表現をかたまりとして覚えていきます。また、体を動かすことも好きなので、5匹の小ザルやママザル、お医者さんのサルになりきって発表したりします。

5・6年生は*Hi, friends!*を扱いながら、英語で表現することを楽しめるような活動を取り入れています。英語そのものを表現する楽しさも味わってほしいと考えているからです。

スキット活動はその一環です。昔話スキットやオリジナルスキットを活用して授業を構成します。*Hi, friends!*で扱った表現や既習事項を組み合わせながら、視覚資料を用いて内容を理解させます。ストーリーが分かり、聞くことに慣れた段階で声に出していきます。

子どもたちにとって覚えることはハードルが高いのですが、繰り返すことで少しずつ自信がついてきます。あくまで週1時間の活動なので、繰り返し練習ができるよう帯学習で取り組みます。小道具などがあると子どもたちは喜んで演じます。100円ショップなどで買う程度ですから手間はかかりませんが、効果は絶大です。

以下は、子どもたちが昨年*Hi, friends! 1 Lesson 3*で*How many ～?*の表現を使って考えたオリジナルストーリーです。『10匹のペットのクモが1匹なくなっちゃった!』という話です。ペットがクモという発想が小学生らしいですが、話のオチをつけることで伝える楽しさが広がります。また、ペットの種類を変えることでベアそれぞれのストーリーが作れます。



3. 体験活動が大きな目標に！

小学校の英語活動で扱う表現は中学校と比べるとほんのわずかですが、子どもたちは英語を使って話してみたいという欲求をもっています。もちろん、ふだんの授業のやりとりも前向きに取り組みますが、子どもたちのモチベーションが一気に高まるのは、ALTや留学生との交流会の時です。

特に、留学生と過ごす交流会の体験は子どもたちにとっても印象深いものになっています。いろいろな国から来ている留学生がいろいろなアクセントの英語で話している、これ

だけでもとても刺激的なことです。その中で、自分の英語が通じる喜び、通じないもどかしさを体験します。さらに、言葉の気づきだけではなく、宗教によって給食の中に食べられないものがあるなど文化の違いも理解していきます。交流会は、国際理解の第一歩となる活動でもあります。小学生は体験しながら学ぶという過程がとても重要だと感じています。



また、昨年度は筑波大学が推し進めているグローバル化事業のひとつとして、児童24名（希望者）を対象にサンフランシスコ研修を



実施しました。まさに初の試みでしたが、スタンフォード大学や地元の小学校の協力を得て、子どもたちの世界を広げる貴重な体験をしました。

4. 今後の課題

現在の学習指導要領では、英語の定着までは求められていません。あくまで慣れ親しみですが、子どもたちが少しでも英語の積み重ねを意識できるような系統的な指導、内容の配列が必要だと感じています。体験活動とリンクさせながらより充実した時間となるよう実践を重ねていきたいと思っています。

Then fight it. Fight it!

●津田塾大学大学院 野田 小枝子



写真：PPS 通信社

冒頭から私事で恐縮ですが、最近、生まれて初めて手術を受けました。しかも2度です。1度目は足の骨折のため粉碎した骨を固定する手術で、4時間かかりました。

腰椎麻酔で上半身はしっかり感覚がありました。手術の間、レントゲンに写された自分の足に金属の固定具が慎重に入れられていくのを見ていました。

10分おきに血圧計が計測を始め、腕に加わる痛みが、仰向けのままでいることから生ずる背中中の痛みを相殺することで緩和してくれるのでした。

「そうだね。そこでよさそうだね。」主治医のY先生とH先生が金属を入れる位置を静かに検討する話し声が聞こえます。背景にはかすかに音楽が流れていました。

ポップ調のメロディーが多かった中でも、「勇気100%」というアニメ『忍たま乱太郎』の主題歌が印象に残りました。当たり前の日常が手術室に存在することで、平気でいられるような気がしました。

今回ご紹介する1991年のアメリカ映画『ドクター』（英語のタイトルは*The Doctor*）は、派手な音楽が響き渡る手術室の場面から始まります。しかしこの音楽は患者のためではなく、執刀医のためにかけられているのです。

主人公はウィリアム・ハート（William Hurt）演じる心臓外科医のジャック・マッ

キー（Jack MacKee）。仕事がまさに充実して、妻と息子との約束も忘れがちな毎日を送っています。自分の手腕にも自信があり、多数の手術をこなす一方で、「患者に感情移入はするな。」とインターンたちに説きます。

彼にとって麻酔中の患者は「手術の対象」でしかなく、同僚の耳鼻科医ブルムフィールドが、あたかも聞こえているように麻酔中の患者に話しかけるのを、“Where ENT meets ESP.”（耳鼻科医が超感覚に出会うところだろ。）などと揶揄し、半ば軽蔑しています。

ところがある日、ジャックは車の中で吐血します。検査結果は喉頭癌でした。その日以来、彼は患者の視点から病院や医師を見ざるを得なくなります。事務的に検査をし、事務的に癌だと告げて立ち去る医師、永遠に続くような待ち時間。医師の間違いにより浣腸をされたり、医師の都合により治療の日時を変更されたりもします。

彼の妻アンと一緒に闘おうと、“We’ll beat it!”（一緒にやっつけましょう。）と言うのですが、“‘We’ don’t have it! It’s not a team game.”（一緒に病気になっているわけじゃない。これは個人戦だ。）と妻を寄せつけないジャック。

そんな中、彼は放射線治療の待合室で、高額な検査が受けられず治療が手遅れになってしまった、脳腫瘍患者の若い女性ジューンに出会います。彼には運命を受け入れているかのようなこの女性が不思議でなりません。

放射線治療の効果がなく、喉頭切開手術をすることになったことを、彼はジューンに打ち明けます。他人の手術は数多くこなしていたジャックですが、手術への恐怖を募らせていました。そんなジャックをジューンは病院の屋上へ連れて行きます。「誰にも聞こえないから思いっきり叫んでみたら?」「叫びたくな

んかない。」とジャック。「じゃあ、ここから飛び降りたら?」「飛び降りたくなんかない。」
「じゃあ、闘うのよ。闘うしかないのよ。
(Then fight it. Fight it!)」

ジューンの力強い言葉にジャックは勇気づけられます。以前妻に「闘いましょう。」と言われたときには、お前などに分かるかという傲慢な態度のジャックでしたが、ここでは同じ不安を抱える患者としてジューンの手紙を素直に受け入れたのでした。

患者に事務的な態度でしか接することを知らない主治医の手術を拒み、ジャックは結局いつもからかっていたブルムフィールドに執刀を頼むことになります。今までのことを謝り、「手術を引き受けてくれないか。」と頼むジャックに、「君の喉をずっとかき切ってやりたかったんだ。やっとチャンスがきたよ。」と冗談で応じるブルムフィールド。

手術は成功し、しばらくは声が出なかったジャックですが、やがて出るようになります。また、彼の妻アンは、自分を拒絶し同じ患者であるジューンにのみ不安を打ち明ける夫の姿を見て孤独感を抱いていましたが、ジャックは彼女との関係も最後には修復します。

ジューンはジャックの手術前に病態が悪化し亡くなってしまいます。ジューンは亡くなる前の晩にジャックに宛てた手紙の中で、ある農夫の話をしました。

“There was a farmer who had a lot of fields. And he kept all of the birds and creatures away from his crops with traps and fences. He was very successful, but he was very lonely. So, one day, he stood in the middle of his fields to welcome the animals. He stayed there from dawn to dusk, with his arms outstretched calling to them. But not a single animal came. Not a single creature

appeared. They were terrified, you see, of the farmer's new scarecrow. Dear Jack, just let down your arms and we'll all come to you.”

「一緒に闘おう」と言ってくれたのに拒絶してしまった妻と、その後どう接したらよいのか分からず孤独だったジャックに、どう振舞えばよいのかをこの話でジューンは教えているのです。

患者としての体験を経て、ジャックは大きく変わります。ある患者をTerminal in 1217 (1217号室の末期患者)と言及したインターンを叱り、患者は名前と呼べと指導したり、インターンたちに患者用ガウンを着て72時間患者体験をするように指導したりします。

この映画にとってジューンの存在は大きいものです。自分に残された時間が少ないにもかかわらず人を救おうとするジューン。人を救う医師であるジャックが、彼女の言葉に何度も救われています。“Then fight it. Fight it!”もその1つです。

数年前に医学部で英語を担当していたとき、医学部生に医学的内容を英語で教えていただくために、アメリカで外科医として活躍後、日本で研修医の指導をされているアメリカ人医師とコラボして英語カリキュラムを組み立てていました。

ある授業日、そのL先生に“What's your favorite movie?”という質問をした学生がいました。先生はちょっと戸惑われたようでしたが、“*The Doctor*.”と断言されました。

今回このコラムを書くためにこの映画を見て、そのことを思い出しました。

普通に歩けるまでもう少しです。多くの方に感謝しつつ、小さな闘いを続けます。

Munchies and piggies and foodies

Peter J. Collins
Tokai University

I guess that salad I had for lunch today just wasn't enough. Because by 3:00 in the afternoon, I had **the munchies**. I wasn't particularly hungry, but I found myself in the kitchen anyway, hunting for something to **snack on**: cookies, potato chips - anything!

"Munching" is a synonym for "chewing," so if you suddenly crave food, you're **getting an attack of the munchies**. This phrase is most often used when you're in the mood for **junk food**, which is generally high in calories but low in nutrition. And that's just what I found - a bag of popcorn that I **grazed on** for the next couple hours. Grazing is what cows and other animals do in the field, nibbling on grass and plants all day; it perfectly fits the kind of absentminded eating you might do while watching TV.

"Grazing" is just one of the many ways English compares our eating habits to those of animals. Ready for lunch? **Let's strap on the feed bag!** This allusion is to the bag filled with oats or other food and fastened in front of a horse's mouth. Eating too quickly? Someone might tell you not to **wolf down** your food. Eating too much? You might have to admit that you really **pigged out** at lunch

today, or that you **made a pig of yourself** at the restaurant.

In another animal-related idiom, if you skipped breakfast, you might announce, **"I'm so hungry I could eat a horse!"** In researching different versions of this expression, I came across one I love: **"I'm so hungry I could eat a horse and chase its rider!"** Even after eating the horse, you're still hungry enough to eat a person? As hungry as you might be, have you ordered too much food and then realized that you can't finish it all? You can apologize to the waiter by explaining, **"My eyes were bigger than my stomach!"** This means that you overestimated how much you could eat when you first saw the menu or the food.

Being on a diet doesn't always make things easier; on the contrary, **watching your weight** can get complicated. For one thing, you may experience **food swings**. This term, a play on "mood swings," explains how your mood changes according to how hungry you are.

In addition, your friends may get tired of you telling them **"I'm counting my calories"** or **"I'm trying to cut down."** On the other hand, they may start advising you on various **superfoods** to include in your diet. These are foods, such as certain kinds of berries or seaweed, which are thought to have health benefits. The term is a controversial one, however; many nutritionists dispute the claims of companies selling "superfoods." And this year the word appeared on Lake Superior State University's popular annual "List of Banished Words."

Vegetarianism, on the other hand, has proven itself to be a healthful option, and many vegetarians proudly call themselves **herbivores**. This term, derived from the Latin “herba” (herb) and “vorare” (swallow), is traditionally applied to animals that eat only plants. At one end of the vegetarian scale, we find **vegans**, who strictly avoid using any animal products at all. **Veganic** is a new portmanteau word; it describes gardening or food that is both vegan and organic. **Ovo-vegetarians** allow themselves eggs but no dairy products, while **lacto-vegetarians** cut out eggs, but eat dairy; **ovo-lacto-vegetarians** eat both. **Pescetarians** (from the Latin “pisces,” for fish) avoid all meat except fish and seafood; they are also jokingly referred to as **fishitarians**. And **flexitarians** are more flexible, sometimes eating meat. At the other end of the spectrum, there are even people who claim to be **meatatarians**, never eating vegetables at all!

These days, many menus specify which items conform to the needs of which vegetarians. Another worldwide restaurant trend is the **slow food** movement. In contrast to the impersonal, globalized nature of fast food, a slow food chef offers traditional cooking using only plants and animals native to that region. This is good news for **locavores**, a word coined by combining “local” and the “-vore” of “herbivore.” Locavores are people who try, as much as possible, to eat only locally grown or raised products.

To people who aren’t concerned about slow food, locavores may seem like **food snobs**. If snobs look down on other people as inferior,

than food snobs look down on certain ingredients, dishes, or restaurants as below-standard. A more positive term is **foodie**, for someone who is interested in the latest food fashions. Recent trends have included **heirloom tomatoes**, tomato varieties that have been passed down through generations, and **artisan** or **artisanal food**, meaning foods that are produced through traditional, non-industrialized methods. If you’re a foodie, your eyes might light up when you see “veganic heirloom tomato sandwich on artisanal bread” on a menu.

One reaction to overly sophisticated menus is the current boom in restaurants offering **comfort foods**. These are foods that make us feel comfortable, often because they have a nostalgic or healing feel to them. For me, chicken soup is a classic comfort food, especially when I’m feeling under the weather.

Children are often told how important it is to be a **member of the Clean Plate Club**, in other words to finish all their food. But adults today often have a tough time doing so when they’re dining out; **portion sizes** in restaurants have increased dramatically over the last 40 years. That’s where the **doggy bag** comes in handy; you ask the waiter to package up the food you can’t eat so you can take it home “for the dog.” But secretly? You’re planning to have it as a **midnight snack** if you get the munchies!



第11回

まもなく締め切り!!

地球となかよしメッセージ

作品募集(2013年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。



田んぼパワー

田んぼはね苗を植える場所なのに
カイエビ、ミジンコ、イトミミズ いろんな生きもの生まれてる
田んぼはね稲を育てる場所なのに
オタマジャクシ、ヤゴ、タニシ いろんな生きもの育ってる
田んぼはね稲穂を刈り取る場所なのに
オンパッタ、トンボ、チョウ いろんな生きもの恋してる
田んぼはね何にもしてない時でも
アメリカザリガニ、ドジョウ、ヘビ いろんな生きもの休んでる
田んぼはねお米という命が実る場所だから
サギ、コオロイシ、レンゲソウ いろんな命がつながって
アメンボ、スズメ、私たち 田んぼパワーで元気いっぱい

第10回入選作品

応募資格

小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)

応募期間

2013年7月1日～9月30日
詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。

作品
テーマ

- ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み
- ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること
- ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会

◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞

*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



教育出版

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

英語教育 通信 ONE WORLD Info (2013年 秋号) 2013年8月30日 発行

編集: 教育出版株式会社編集局 発行: 教育出版株式会社 代表者: 小林一光

印刷: 大日本印刷株式会社 発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- 北海道支社** 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
- 函館営業所** 〒040-0011 函館市本町 6-7 函館第一生命ビルディング 3F
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
- 東北支社** 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
- 中部支社** 〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
- 関西支社** 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-6-27 ヨシカワビル 7F
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
- 中国支社** 〒730-0051 広島市中区大手町 3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
- 四国支社** 〒790-0004 松山市大街道 3-6-1 岡崎産業ビル 5F
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
- 九州支社** 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 2-11-30 クレセント東福岡 E 室
TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
- 沖縄営業所** 〒901-0155 那覇市金城 3-8-9 一粒ビル 3F
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411